

ジャパン・レジリエンス・アワード（強靱化大賞）2023 にて 最優秀賞を受賞

東京都八丈町(町長：山下奉也)と株式会社オリエンタルコンサルタンツ(代表取締役社長：野崎秀則)は、令和5年4月10日に開催されたジャパン・レジリエンス・アワード（強靱化大賞）2023 にて、協働で実施した『「国土強靱化地域計画+DX」に基づく全庁職員訓練』が最優秀賞を受賞しました。

当社でのジャパン・レジリエンス・アワード（強靱化大賞）の受賞は、2019年以降5年連続、延べ7回目となります。今回の最優秀賞は、DX技術を活用した取組みが国土強靱化地域計画の継続的な改善のきっかけとなったこと（持続性・継続性）、他自治体への展開可能性があること（波及性）などが評価理由となっています。

株式会社オリエンタルコンサルタンツは、DX技術も活用しながら、ハード・ソフトの両面から地域の強靱化、国土の強靱化に向けた防災行政の支援を行ってまいります。

【受賞案件の概要】

東京都八丈町は、令和4年3月に国土強靱化地域計画を策定後、地域強靱化の必要性の理解促進や庁内外の連携・協働を強化することにより計画の実効性向上を図るため、令和4年12月14日に、全庁職員や関係機関が参加した訓練を実施しました。当社は、国土強靱化地域計画の策定から、訓練の企画・運営まで、国土強靱化地域計画の一連の流れについて支援させて頂きました。

■訓練の概要

・訓練1：国土強靱化を『知る』

国土強靱化の理解を深めるため、中林一樹 東京都立大学名誉教授による講演の実施

・訓練2：八丈町で発生しうる災害を『見る』

強靱化の推進には、起きてはならない最悪な事態（リスクシナリオ）を自らのリスクとして認識することが重要であるため、3次元データを用いた「3Dアイランドマップ」を作成し、このマップに津波シミュレーション結果を再現した4D津波ハザードマップをもとに、島内で発生しうる災害リスクの「見える化」の実施

・訓練3：八丈町独自のリスクシナリオを『考える』

起きてはならない最悪な事態（リスクシナリオ）を具体的に想定するため、リスクを明確にするイメージトレーニングの実施

【過去の当社でのジャパン・レジリエンス・アワード（強靱化大賞）の受賞】

2015年：優良賞、「土砂災害ハザードマップと土砂災害避難行動計画の作成」

2019年：最優秀レジリエンス賞、「土砂災害警戒支援システムの開発」

2020年：優秀賞、「土砂災害から山間地域を守るための総合支援」

2021年：優秀賞、「コロナ禍を考慮した6年連続となる防災シンポジウムの企画・運営」

優秀賞、「山間部の溪流調査を効率的に実施するための総合支援」

2022年：最優秀賞、「風水害から住民の皆様の命を守るための防災行政の支援

～防災DXによる災害時の防災行政マネジメントの検証～」

【ジャパン・レジリエンス・アワード（強靱化大賞）について】

ジャパン・レジリエンス・アワード（強靱化大賞）は、一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会が2014年11月に創設した賞です。次世代に向けたレジリエンス社会構築へ向けて、強靱な国づくり、地域づくり、人づくり、産業づくりに資する活動、技術開発、製品開発等に取り組んでいる先進的な企業・団体が評価・表彰されるものです。



ジャパン・レジリエンス・アワード

2023

※一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会（Association for Resilience Japan）

国土強靱化担当大臣私的諮問機関「ナショナル・レジリエンス懇談会」の結果を踏まえ、「国土強靱化基本計画」が円滑に達成されるよう、産、学、官、民のオールジャパンでその叡智を結集し、非常時のみならず平時での戦略的活用の方策を創造することにより、公共投資、民間投資が最大限に相乗効果を発揮し、レジリエンス立国を構築していくことを目的として設立。



左：中林一樹 東京都立大学 名誉教授

中央：山下奉也 東京都八丈町長

右：中尾 毅 (株)オリエンタルコンサルタンツ 執行役員 防災事業部 事業部長

＜本資料に関するお問い合わせ先＞

株式会社オリエンタルコンサルタンツ

TEL: 03-6311-7551 FAX: 03-6311-8011

URL:<https://www.oriconsul.com/>

統括本部 伊藤・丸山・門司